



みんなで創る ほっと いきいき 波佐小学校

# 波佐っ子だより

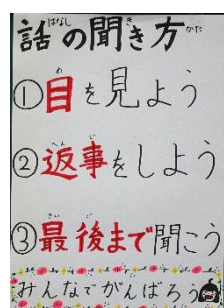
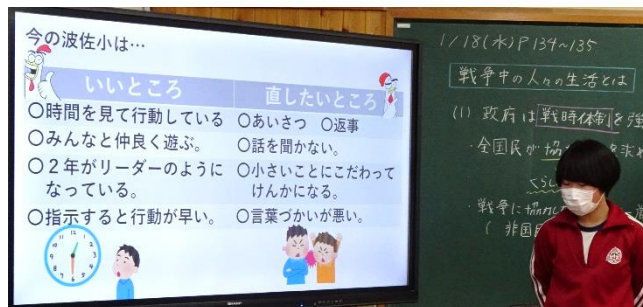
令和5年2月号  
浜田市立波佐小学校  
文責：池辺

## 「まとめ」と「引継ぎ」の3学期 ～波佐っ子のふるまい～

1月18日に児童集会がありました。2学期に児童会が提案した「波佐っ子のふるまい」の具体的な取組をみんなで考える時間でした。

まず、5・6年生が、波佐小の「いいところ」「直したいところ」を整理して伝えました。特に、「話を聞く」ことが一番の課題とし、よくするためにはどうすればよいか、縦割り2グループに分かれて話し合いました。出されたアイデアは、その場で6年生がタブレットに打ち込み、モニターに映し出して発表しました（自然にICT活用ができるようになっていくところが素晴らしい!）。

出されたアイデアは、後日5・6年生が「評価しやすい3つの項目」に整理して下学年に伝えました。毎日、学級や集団下校前に振り返りをし、意識づけを行っています。



### 1/20 クラブ(生け花)



槇田浪子さん、石田由美子さんに教えていただきました。全員初めての経験でしたが、とても集中し、迷いなく生けている様子でした。「思ったより上手にできた」「日本の伝統を感じた」などの感想が聞かれました。

### 2/8 三味線鑑賞



岡本謙二さんにお越しいただきました。子どもたちは予想以上に迫力のある音色に聞き入っている様子でした。また、曲の合間に話される説明や岡本さんの思いにも引き込まれていました。

### 3月 行事予定

- 1日(水)児童総会
- 2日(木)PTA 役員会
- 7日(火)ラブック号
- 8日(水)6年生を送る会
- 10日(金)校外班会
- 13日(月)クラブ(生け花)
- 14日(火)卒業式予行練習
- 17日(金)卒業式
- 20日(月)JP 貯金
- 23日(木)4時間授業  
給食終了
- 24日(金)修了式 離任式  
3時間授業

### 2/6 味覚の学習



益田のイタリア料理店「STAGIONE」のシェフ 藤原真樹さん他7名の方（取材含む）にお越しいただきました。地域の食材で5つの味をじっくり味わい、子どもたちはいつものように次々とナイスコメントをしていました。お腹を満たすだけでなく、家族や友人と楽しく味わって食べることの大切さを感じたようです。

## 教育活動アンケート ～ご協力ありがとうございました～

昨年12月に、保護者、児童による「教育活動アンケート」を行いました。本校の教育活動の中で、今年度特に重点にした項目について、アンケートを取らせていただきました。

12月から2月の間に、アンケートを集計し、本校職員による自己評価の集計結果と比較して分析したり、今後の改善策を検討したりしてきました。

また、2月9日には第3回学校評議員会を開き、結果の分析や改善策案等について、3名の学校評議員の方からご意見をいただきました。これらの概略をお知らせします。

	重点項目	評価	評価分析・改善策
戦い粘り強く挑む子	問題解決的学習、話し合い活動の充実	S	高学年は自分たちで授業を進める力や対話力がついた。今後は、低学年から系統的に力をつけていく。
	図書館活用、家読の充実 メディアリテラシーの育成	B	2学期は、家読週間の取組成果が見られた。3学期から全学年朝読書を実施し、時間を確保する。タブレットの操作や情報の活用に慣れることができた。
つながる子	人権集会の充実 よいところ見つけ	S	人権集会で実施した「ふわふわ言葉見つけ」の継続・発展的な取組を児童会で計画する。
	子どもの声でつくる児童会	S	児童の発案による児童会活動が展開できた。「波佐っ子のふるまい」について、3学期は具体的な取組をする。
	ふるさとへの愛着や誇りを感じる活動	S	多くの地域の方に協力していただいた。地域の「ひと・もの・こと」を組み入れた活動を教科等とより関連させる。
元気な子	家庭と連携したメディアコントロールの取組	S	「家読記録帳」を活用し、家庭と連携しながら生活習慣の確立に努めることができた。今後も継続する。
	定期的なアンケートと教育相談、スクールカウンセラー活用による児童理解	A	SCによる全児童との面談を実施した。授業や休み時間等に、児童と直接かかわる時間も確保する。
学びを支える環境	危機管理	S	職員会議等で「子どものこと・ヒヤリハット」について毎回情報共有をした。今後も迅速な組織対応を心がける。
	家庭・地域との連携	S	学校だより、学級だより等を通じて、積極的なわかりやすい情報発信を心がけた。コロナ規制緩和に伴い、連携した活動の充実を図る。

評価:保護者、児童、職員の総合的な肯定的評価(S:90%以上 A:90%未満80%以上 B:80%未満60%以上)

すべての項目について、概ね肯定的な評価でした。また、1学期末のアンケート結果と比べても、ほとんどの項目で肯定的評価が上回っていました。保護者や地域の皆様のあたたかいご支援・ご協力や何事にも素直に一生懸命取り組む波佐っ子のよさが、取組の成果として表れていると思います。

最も低い評価だったのは、読書習慣についての項目でした。低学年は読書が定着していますが、上学年は自己評価に差がありました。3学期から、全校朝読書の時間を設定したり、授業と関連させて図書館活用に取り組んだりしているところです。

学校評議員の方からは、次のようなコメントをいただきました。

- ・小規模校ならではの、一人一人に目を向け、子どもがしっかり学べる環境にあると感じる。
- ・あたたかい雰囲気を大事にしつつ、ICT活用等、新しい教育を積極的に取り入れている。
- ・ふるさと学習の評価が、子どもも、保護者も、先生もパーフェクトなのは素晴らしい。
- ・波佐出身の講師を招くのはとてもよい。いい講師は何度も呼んでほしい。
- ・子どもが少なくなるのが心配。対策を考えていきたい。

